

20年度業績見通し、ウイズコロナ・アフターコロナを 見据えた取り組みについてのアンケート調査結果

（今回のアンケート調査の目的、狙い）

千葉県経済は最悪期を脱したが、回復テンポは新型コロナウイルスの感染状況に左右される局面が続いている。

こうした状況を踏まえ、㈱ちばぎん総合研究所（千葉経済センターから調査を受託）では、県内企業に対し、「20年度業績見通し」、「ウイズコロナ・アフターコロナを見据えた取り組み」について、以下の要領でアンケート調査を実施した。

業種別・本社所在地別・規模別回答企業数

（単位：社）

	合計	本社所在地		企業規模	
		県内	県外	大企業	中小企業
全産業	222	197	25	87	135
製造業	114	100	14	23	91
食料品	22	18	4	7	15
石油・化学	11	8	3	3	8
プラスチック	7	6	1	1	6
窯業・土石	10	10	0	2	8
鉄鋼・非鉄金属	9	9	0	0	9
金属製品	15	11	4	3	12
一般・精密機械	9	8	1	3	6
電気機械	10	10	0	2	8
輸送用機械	10	10	0	2	8
その他製造	11	10	1	0	11
非製造業	108	97	11	64	44
建設	15	14	1	7	8
運輸・倉庫	13	13	0	4	9
卸売	17	13	4	11	6
小売	21	19	2	15	6
ホテル・旅館	10	9	1	5	5
サービス	32	29	3	22	10

調 査 要 領	
1.	対象企業… 千葉県内に本社または事業所を有する企業
2.	方 法… 郵送によるアンケート方式
3.	実施期間… 配付：2020年 9月1日 回収：2020年 10月12日
4.	回答状況… 調査対象企業 565社 有効回答数 222社 有効回答率 39.3%

（注）調査票の回収数は222だが、設問ごとで回答数が異なるため、各問での有効回答数（母数：n）は異なる。

注）大企業、中小企業の区分は下記による。

大企業…資本金1億円以上。ただし、卸売業は5,000万円以上、小売業、ホテル・旅館業、サービス業は3,000万円以上とする。

中小企業…資本金1億円未満。ただし、卸売業は5,000万円未満、小売業、ホテル・旅館業、サービス業は3,000万円未満とする。

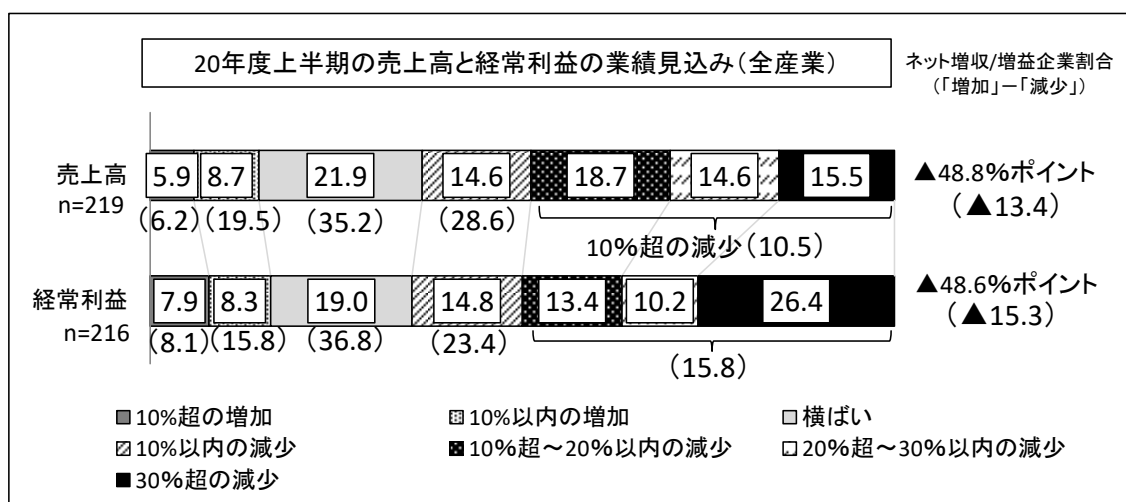
1. 20年度上半期決算実績見込みと通期見通し

(1) 貴社の20年度上半期売上高および経常利益(対19年度上半期比)の見込みについてお聞かせください。

20年度上半期の業績は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、19年度上半期に比べ、大幅に悪化する見込みとなった。

売上高をみると、増収企業の割合が14.6%にとどまる一方、減収企業の割合が63.4%にのぼり、「増収」企業割合から「減収」企業割合を引いたネット増収企業割合は▲48.8%ポイントと、前年調査の▲13.4%ポイントから大幅に悪化した。

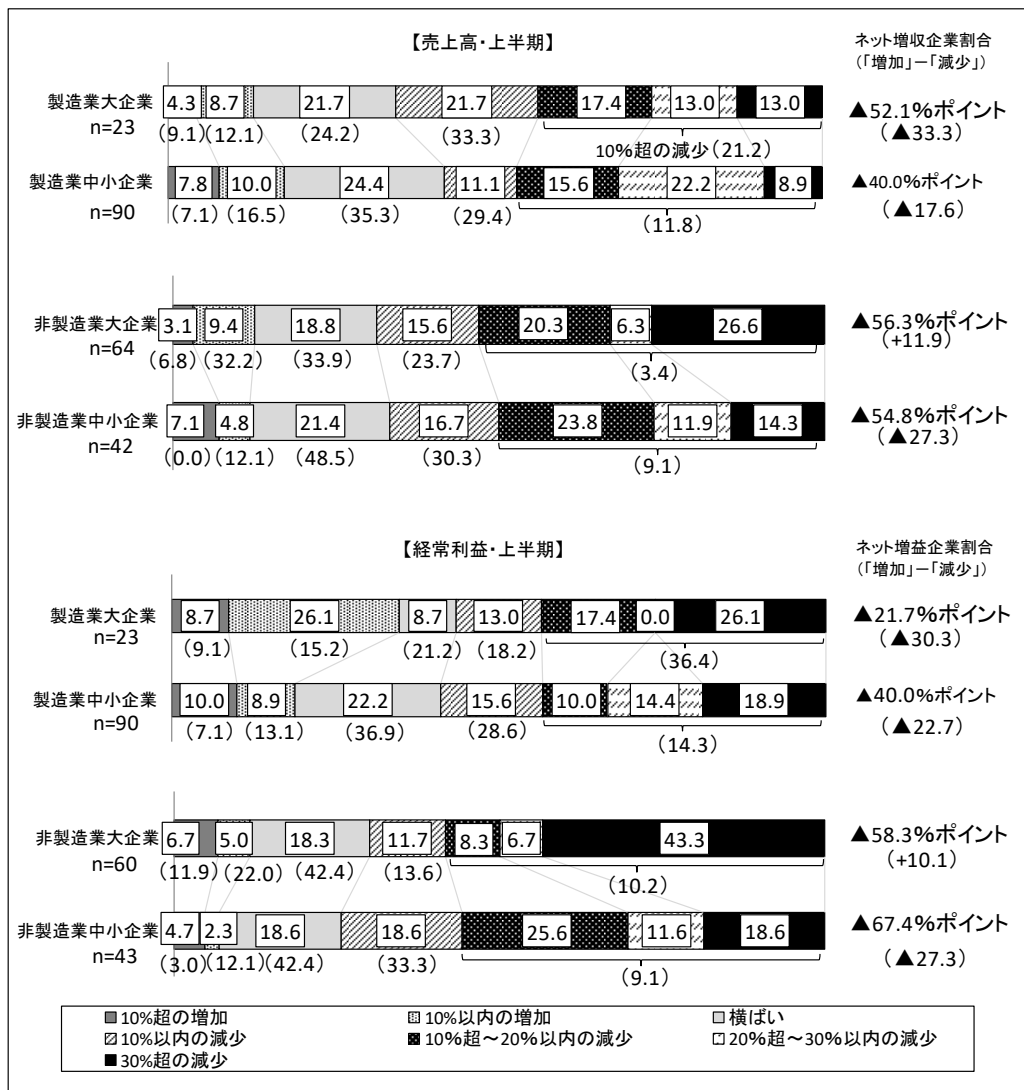
経常利益も、減益企業の増加から、ネット増益企業割合(「増益」企業割合－「減益」企業割合)が▲48.6%ポイントと、前年の▲15.3%ポイントから大幅に悪化した。



() 内は19年9月調査実績、単位：%

	調査期間	回答数	期間中の日経平均 終値平均	期間中の為替相場 (ドル円)の平均
今回	20年9月1日～10月12日	222	23,333.86円	105.67円/ドル
19年9月調査	19年8月31日～10月11日	212	21,582.49円	107.40円/ドル

製造・非製造業別、規模別にみると、すべてのセグメントで減収（減益）先が増収（増益）先を上回った。緊急事態宣言に伴う休業などから、売上高、経常利益ともに非製造業のマイナス幅が製造業を上回った。

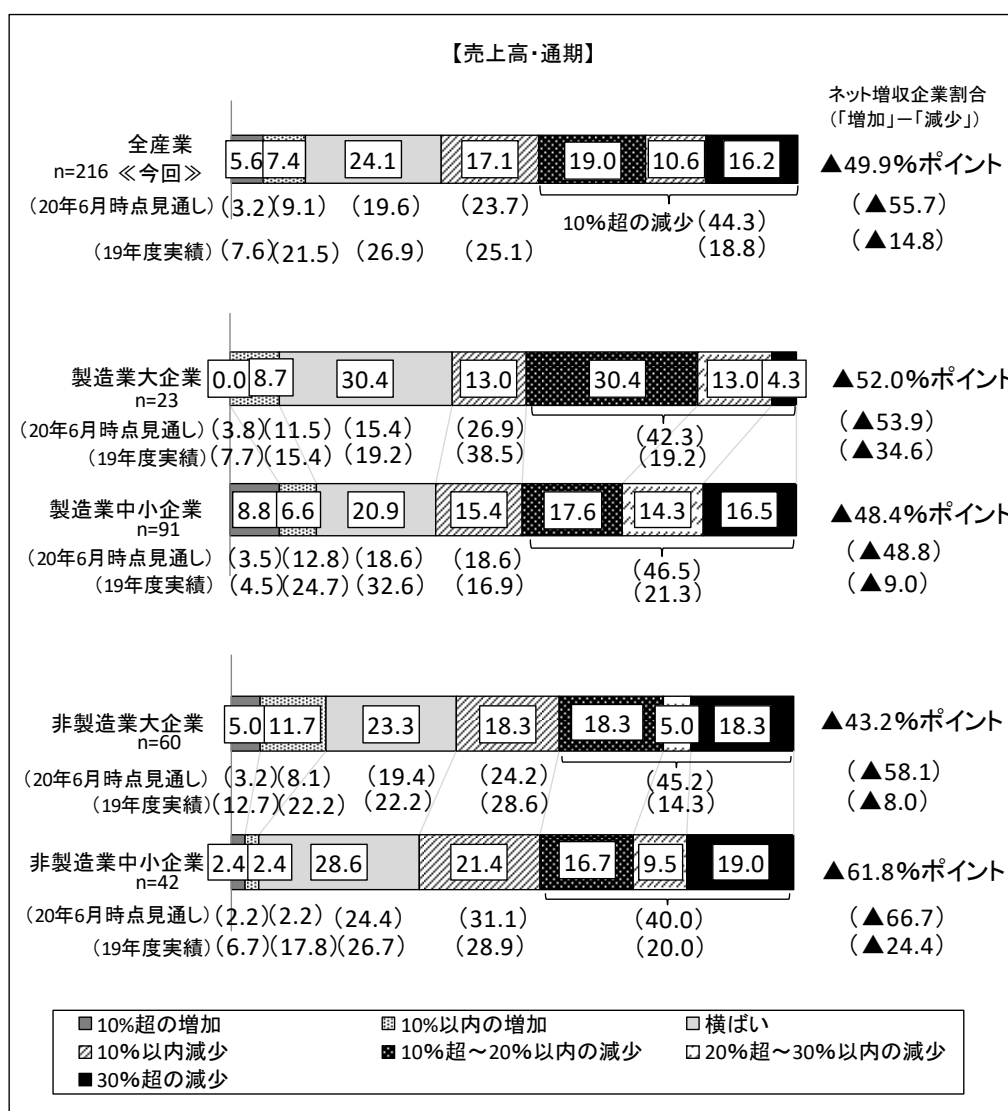


（ ）内は19年9月調査実績、単位：%

(2) 貴社の20年度通期売上高および経常利益(対19年度通期比)の見込みについてお聞かせください。

通期の業績をみると、売上高(全産業)では、ネット増収企業割合が▲49.9%ポイントと、19年度実績の▲14.8%ポイントから大幅に悪化した。一方、コロナウイルスの影響を織り込んだ本年6月時点の見通し(▲55.7%ポイント)からは、やや改善している。

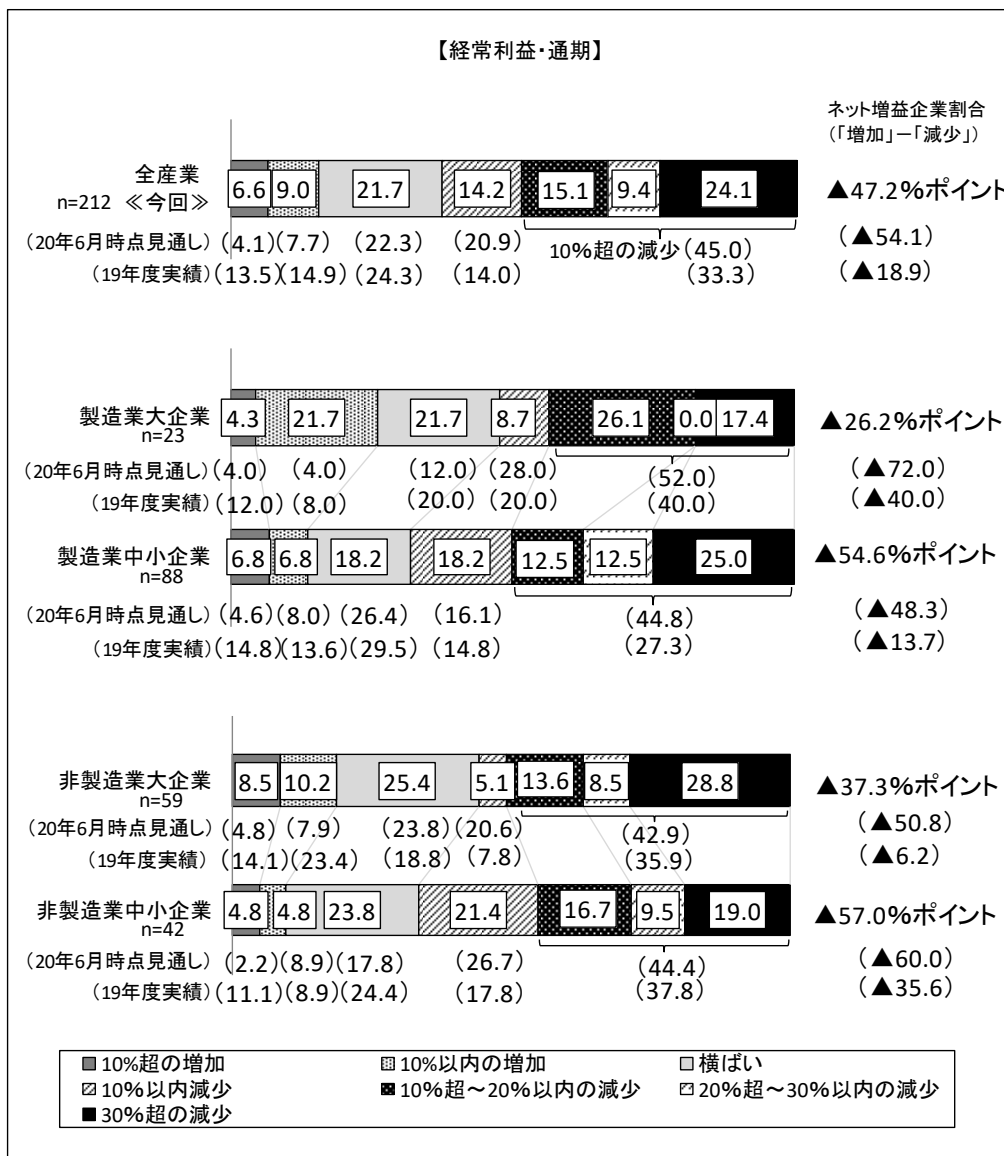
製造・非製造業別、規模別にみると、全てのセグメントがマイナスとなり、中でも非製造中小企業のマイナス幅が▲61.8%と大きい。6月時点との比較では、非製造業大企業の持ち直しが目立つ(▲58.1%ポイント→▲43.2%ポイント)。



単位：%

経常利益（全産業）もネット増益企業割合が▲47.2%ポイントと6月時点の▲54.1%から改善した。

セグメント別にみると、非製造業では大企業、中小企業ともに改善するが、製造業では大企業が大幅に改善する一方（6月時点：▲72.0%→今回：▲26.2%ポイント）中小企業は悪化を見込んでいる（同：▲48.3%ポイント→同：▲54.6%ポイント）。



単位：%

経常利益の見込みについて業種別にみると、減益を見込む企業の割合が高い業種は、製造業で「鉄鋼・非鉄金属」、「金属製品」、非製造業で「ホテル・旅館」となっている。

経常利益が増加/減少した(増加/減少を見込む)企業の比率

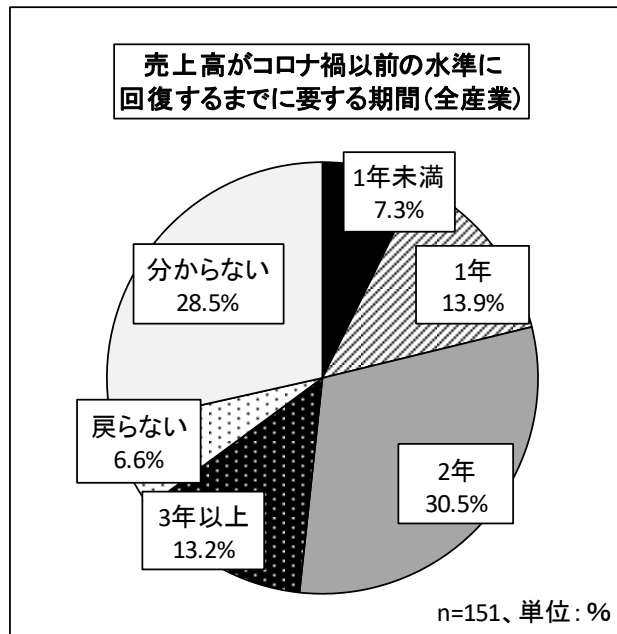
(単位: %、%ポイント)

		20年度上半期業績見込み			20年度通期業績見込み		
		増加	減少	ネット増益 企業割合	増加	減少	ネット増益 企業割合
全産業		16.2	64.8	▲ 48.6	15.6	62.8	▲ 47.2
規模別	大企業	18.0	66.2	▲ 48.2	20.7	54.9	▲ 34.2
	中小企業	15.1	63.8	▲ 48.7	12.4	67.6	▲ 55.2
業種別	製造業	22.1	58.4	▲ 36.3	16.2	64.8	▲ 48.6
	食料品	47.6	28.5	19.1	35.0	40.0	▲ 5.0
	石油・化学	27.3	45.5	▲ 18.2	20.0	60.0	▲ 40.0
	プラスチック	28.6	42.9	▲ 14.3	28.6	71.5	▲ 42.9
	窯業・土石	30.0	40.0	▲ 10.0	40.0	40.0	0.0
	鉄鋼・非鉄金属	0.0	88.8	▲ 88.8	0.0	88.8	▲ 88.8
	金属製品	6.7	80.0	▲ 73.3	0.0	86.6	▲ 86.6
	一般・精密機械	11.1	77.7	▲ 66.6	11.1	66.6	▲ 55.5
	電気機械	20.0	60.0	▲ 40.0	10.0	60.0	▲ 50.0
	輸送用機械	10.0	70.0	▲ 60.0	10.0	70.0	▲ 60.0
	その他製造	18.2	72.8	▲ 54.6	0.0	81.9	▲ 81.9
	非製造業	9.7	71.8	▲ 62.1	14.8	60.5	▲ 45.7
	建設	6.7	66.7	▲ 60.0	35.7	21.4	14.3
	運輸・倉庫	15.4	77.0	▲ 61.6	15.4	77.0	▲ 61.6
	卸売	0.0	68.9	▲ 68.9	6.7	53.2	▲ 46.5
小売	26.4	63.3	▲ 36.9	30.0	50.0	▲ 20.0	
ホテル・旅館	0.0	90.0	▲ 90.0	0.0	80.0	▲ 80.0	
サービス	6.7	73.4	▲ 66.7	3.4	75.8	▲ 72.4	

(3) 上記(1)において、20年度上半期の売上高が「減少した」と回答した方にお伺いします。貴社の売上高がコロナ禍以前の水準に回復するまでにどの位の期間を要するお考えですか。

売上高がコロナ禍以前の水準に回復するまでに要する期間は、「2年」とする先が30.5%で最も多かった。次いで、比較的短期に収束する「1年未満」+「1年」(7.3%+13.9%=21.2%)と長期化する「3年以上」+「戻らない」(13.2%+6.6%=19.8%)がほぼ同割合になっており、見方は2極化している。

セグメント別にみると、非製造業中小企業の見方が最も厳しく、「3年以上」+「戻らない」の合計が36.4%と特に多くなっている。



【セグメント別】

売上高がコロナ禍以前の水準に回復するまでに要する期間

(単位：%)

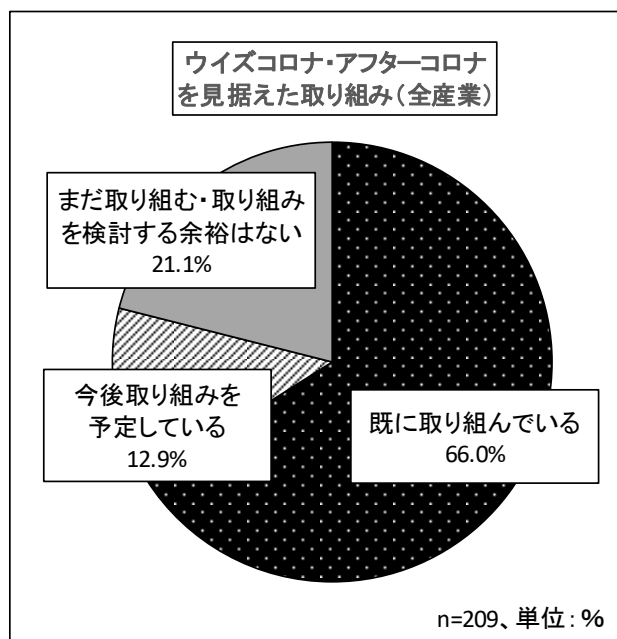
	n	1年未満	1年	2年	3年以上	戻らない	分からない
全産業	151	7.3	13.9	30.5	13.2	6.6	28.5
製造業	75	2.7	14.7	36.0	10.7	5.3	30.7
大企業	15	0.0	13.3	46.7	13.3	6.7	20.0
中小企業	60	3.3	15.0	33.3	10.0	5.0	33.3
非製造業	76	11.8	13.2	25.0	15.8	7.9	26.3
大企業	43	11.6	18.6	27.9	11.6	2.3	27.9
中小企業	33	12.1	6.1	21.2	21.2	15.2	24.2

2. ウイズコロナ・アフターコロナを見据えた取り組みについて

(1) ウイズコロナ・アフターコロナを見据えた取り組み（予定を含む）についてお聞かせください。

ウイズコロナ・アフターコロナを見据えた取り組みについて、「既に着手している」か「着手する予定である」とする先は全体の約8割に上った（66.0%+12.9%=78.9%）。

セグメント別にみると、中小企業では、「まだ検討する余裕がない」とする先の割合が大企業に比べて高い。



【セグメント別】

ウイズコロナ・アフターコロナを見据えた取り組み

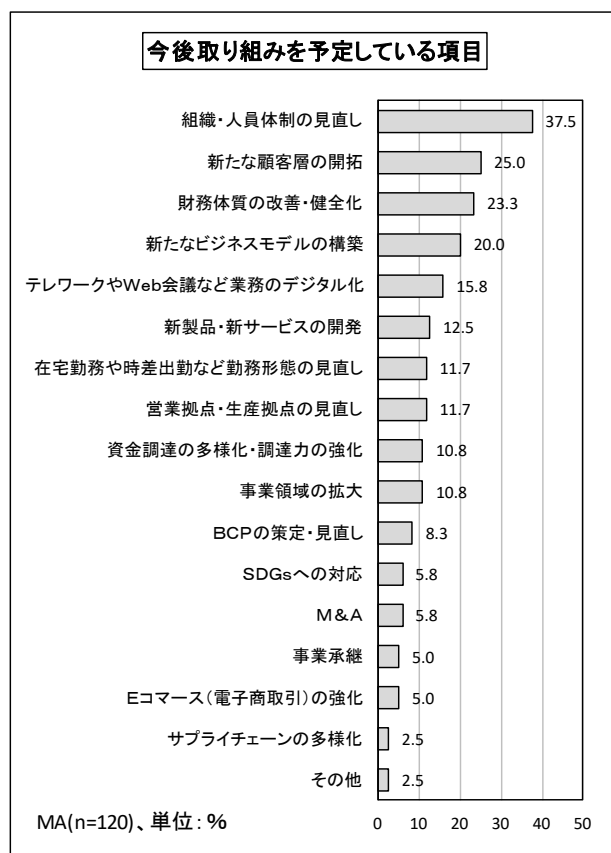
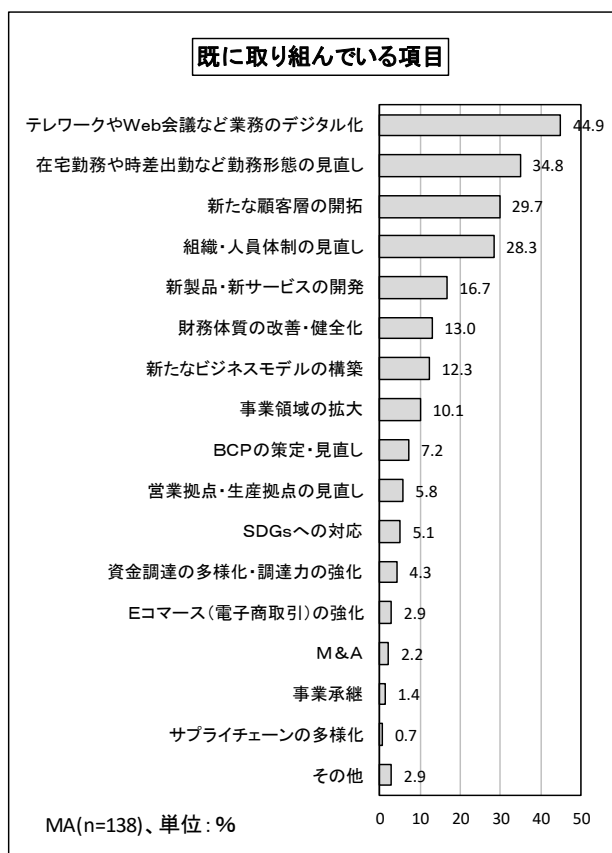
(単位：%)

	n	既に 取り組んでいる	今後取り組みを 予定している	まだ取り組む・ 取り組みを検討 する余裕はない
全産業	209	66.0	12.9	21.1
製造業	108	63.9	13.9	22.2
大企業	22	81.8	9.1	9.1
中小企業	86	59.3	15.1	25.6
非製造業	101	68.3	11.9	19.8
大企業	61	75.4	11.5	13.1
中小企業	40	57.5	12.5	30.0

(2) 既に取り組んでいる・今後取り組みを予定している項目についてお聞かせください。

既に取り組んでいる項目は、「テレワークやWeb会議など業務のデジタル化」が最も多く、「在宅勤務や時差出勤など勤務形態の見直し」、「新たな顧客層の開拓」が続いた。

今後取り組みを予定している項目は、「組織・人員体制の見直し」が最も多く、「新たな顧客層の開拓」、「財務体質の改善・健全化」が続いた。



以上